



## 水沢区 市内外のはっと料理を堪能 奥州はっとフェスタ

郷土料理はっとのさまざまな味わいを楽しむイベント「奥州はっとフェスタ（奥州商工会議所主催）」は6月9日、水沢区中心市街地特設会場をメイン会場に開催されました。市内のほか、宮城県登米市など県内外から17店舗が出店。この日は好天にも恵まれたこともあり、たくさんの方が来場し、各店のオリジナルはっくに舌鼓を打っていました。また、この日は水沢商人まつりも同時に開催され、多くの出店やイベントに会場は盛り上がりしました。



はっくと料理を求める来場者



海鋒守記念事業副委員長と共に植樹を行う参加児童

## 江刺区 児童の手で20周年記念植樹 えさし藤原の郷開園20周年「記念植樹」

歴史公園えさし藤原の郷は、ことし開園20周年を迎えます。これを記念して6月24日、同施設義経館前庭で20周年記念事業委員会（委員長・小沢昌記市長）の主催で記念植樹が行われました。この日は、関係者のほか、岩谷堂小学校の環境委員会と新聞委員会の5・6年生の児童44人も参加。青空の下、汗を流しながら植樹を行いました。植樹終了後には、えさし郷土文化館の相原康二館長が奥州藤原四代について語り、参加児童は興味深く聞き入っていました。

## 前沢区 にこにこパワーもらったよ 世代間交流会

まえさわ介護センターの利用者と、前沢区の園児による世代間交流会が6月17日から21日にかけて、同センターで開催されました。19日は市立前沢保育所おおぞら園の5歳児29人が訪問。園児が利用者に踊りなどを披露したほか、手遊びや肩叩きで世代を超えた交流を楽しみました。

子ども達の元気いっぱいの姿に、利用者は「かわいいね」と満面の笑顔。中には感激の涙を流す人もいました。



園児と笑顔で握手する介護センターの利用者



安全帯の誤った使い方による巻き添え事故を再現

## 胆沢区 労災撲滅への誓いを新たに 災害模擬体験学習会

災害模擬体験学習会（電源開発㈱主催）が6月4日、胆沢ダム学習館で開催され、胆沢第一・第三発電所および胆沢ダム建設工事関係者のほか、市内業者、水沢警察署、消防署などの関係機関から約260人が参加しました。この学習会は、安全意識の一層の向上を図るため開催したもの。模擬的に発生させた10種類の災害を目の当たりにすることで、参加者は、災害の重大さと安全の重要性を認識するとともに、安全用具の正しい使用方法を再確認しました。

## 衣川区 宇宙への関心を楽しく導く 衣川小学校でI L C特別授業



ユーモアを交えながら進められた齋藤教授の特別授業

ドイツ・マインツ大学の齋藤武彦教授による「I L C特別授業」が6月26日、県国際リニアコライダー推進協議会などの主催で始まりました。

これは、県内の小中学生、高校生にI L Cを理解してもらおうと企画されたもので、市内10校を含む県内22校で行われました。

初日の26日は、市立衣川小学校（吉田照彦校長、児童121人）で行われ、5・6年生44人が参加。宇宙の起源、I L Cが立地した場合のまちの将来像などについて、対話形式での授業が行われました。授業を受けた元島樹さん（5年）は「宇宙がどうなってできたのか、I L Cをなぜつくるのか分かった。これからもっと詳しく調べたい」と目を輝かせていました。

## 江刺区 種山の地に響く大声と歓声 種山高原山開き

江刺区と住田町にまたがる種山高原の山開き（種山高原観光協会主催）が6月2日、種山高原キャンプ場で開かれました。市や住田町の関係者約30人が参列。テープカットで行楽シーズン到来を祝いました。

この日は、晴れたり曇ったりの過ごしやすい天候で、朝から多くの観光客が来場。イベント「大声コンテスト」では、参加者が緑鮮やかな種山高原に向かい「ヤッホー」などと大声を響かせ、観客からは大きな歓声が上がっていました。



大声コンテストで声を限りに叫ぶ参加者



前沢牛の炭火焼きを満喫するグループ

## 前沢区 青空の下で前沢牛を頬張る 第29回前沢牛まつり

第29回前沢牛まつり（同実行委員会主催）が6月2日、前沢いきいきスポーツランドで開催されました。恒例の牛の鳴きまねコンテストや大植町出身の歌手・白澤みさきさんの歌謡ショーなどのステージイベントが行われたほか、前沢牛を食材とした特設レストランも出店しました。

この日は天候にも恵まれ、家族連れや友達同士など、多くの来場者が肉質日本最高峰の「前沢牛」を味わいました。